

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
大村美容ファッション専門学校		平成4年3月31日		斉藤 ちづる		〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2-6 (電話) 092-733-1766			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人大村文化学園		平成4年3月31日		理事長 大村 陽之介		〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2-6 (電話) 092-733-1766			
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士		
文化・教養	ファッション専門課程	ファッション科				平成25年文部科学省 認定	-		
学科の目的	ファッション業界を取り巻く幅広い職種を知りながら、センスを活かすカリキュラムで、業界から求められるファッションのプロを育成する								
認定年月日	平成26年3月31日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
	2年 昼間	1800	450	0	0	0	1350 時間		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
100人		83人	0人	6人	6人	12人			
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末におこなう試験、実習の成果、履修状況などを総合的に勘案			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月1日~8月31日 ■冬季:12月20日~1月11日 ■春季:3月13日~4月11日			卒業・進級 条件		必要な時間数を履修している 教科課目の3分の2以上出席 学期末試験において、すべての科目が60点以上			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 本人・保護者と面談等をおこなって対処			課外活動		■課外活動の種類 町内行事への参加、学生自治組織、清掃ボランティア			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) オンワード樺山、ジュン、エイ・ネット			主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■サークル活動: 無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に關する令和3年5月1日時点の情報)			
	■就職指導内容 就職ホームルームによる担任からの指導 就職担当職員による個別の面談指導 など								
	■卒業生数 30 人 ■就職希望者数 26 人 ■就職者数 26 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 86.66666667 %								
	■その他 ・進学者数:								
中途退学 の現状	■中途退学者 7名 令和2年4月1日時点において、在学者72名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者65名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、学校生活不適応			■中退率 10 %					
	■中退防止・中退者支援のための取組 日頃からの気配りや声掛けなどの強化、早めの気付きによる個別面談等の対処								
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ※有の場合、制度内容を記入 成績と面接で選考する特待生制度、スカラシップ制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 (非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載								

第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)
当該学科の ホームページ URL	http://www.omula.com/

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

当校が目指す「即戦力となる人材育成」を実現させるために、流行や変化の激しいファッション業界の動向に常に目を向け、授業科目についての進行過程や指導方法、授業をおこなう環境や使用する教材などの細かなところまで情報提供をおこなった上で、現在の業界において実際に必要な技術や知識を基として、企業や業界団体から改善点などの意見や要望をいただき、それを反映させた実践的なカリキュラム構築をおこないます。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科ごとに教育課程編成委員会を設置(学則に記載)

- ① 本校教務課長から、次年度教育課程を教育課程編成委員会に提案
- ② 委員会で内容を検討
- ③ 意見や改善案を理事長に提出
- ④ 委員会からの意見・改善案を加味して、学校長が次年度の教育課程の内容を決定

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
西岡 克	株式会社 商業界	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	①
小島 庸介	株式会社 サンエー・ビューティー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
谷川 由美	フカヤ株式会社	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、1月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年6月7日 16:00～17:00

第2回 令和3年1月31日 17:00～18:00

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

◎授業科目「販売ロールプレイング」について

- ・よりリアルな接客の必要性が求められるので、台本的な状況設定でなく、臨機応変を求める方向性での授業展開をおこなっている
- ・お客様役の2年生の学生にも、「臨機応変さ」が求める内容のお客様役ができるように、事前にしつかりと指導をおこなっている
- ・実際に多くの店舗に行ってみて、販売員がどのような対応をおこなっているのかを観察して分析をするように指導している
- ・販売のスキルアップだけではなく、「お客様とは」ということを考えるように取り組んでいる
- ・インターンシップも併用する必要がないかを再検討していく

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コミュニケーション能力を持ち、顧客のニーズに合わせて柔軟に対応できる現場で即戦力となる社会人の早期育成をおこなうことを目的として、移り変わりの激しい業界の現在の状況を基にした指導や審査をおこなっていただき、自分に不足しているのは何なのか、実際に働く上で何が重要なのかを、学生自身に実体験として理解させることにより目標が明確になり、高い職業意識を持った人材の育成をおこないます。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

販売・接客の知識や技術を学び、ロールプレイング形式によるコンテストを実施し、その後にインターンシップをおこなうというカリキュラムの流れの中で、以下のような連携と協力をおこなっています

- ・審査基準の設定の協力
- ・授業での特別講師の派遣
- ・コンテストでの審査員の派遣(審査基準に則って学生を評価)
- ・優秀な学生への面接機会の提供
- ・インターンシップの受け入れ

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
販売ロープレ	<p>ロールは『役割』、プレイングは『演じる』=ロールプレイング「模擬販売実演」</p> <p>設定時間内でロールプレイングを繰り返し実践します。販売知識や技術だけでなく、コミュニケーション能力・細やかな所作、言葉遣いも習得します。ロールプレイングコンテストを開催し、即戦力となる販売力を企業の方々に披露します。この取り組みで就職内定へ繋がります。</p>	株式会社 サンエー・ビューティー 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育研修規程により、推薦学科における実践的職業教育の内容充実を目的として、その任にあたる教員の、ファッション業界における専門知識の向上及び教育者としての資質の向上を目的とする。特にファッション業界はトレンドの変化に敏感に対応するため情報収集力やアートや文化等幅広い分野への知識や技術、資質の向上を目的とする。

1. 教員の専門知識・技術の向上のためのプログラム

(ア) 資格取得及び、その資格の認定講師の資格を取得するための研修

(イ) 業界から講師を招聘し、業界の最新トレンドや技術を習得する研修

(ウ) 企業が主催するコンテスト対策の授業

(エ) 最先端のトレンド情報を収集しそれをデザインワークやスタイリングに活かすための研修

2. 教員の指導力向上のためのプログラム

(ア) 組織のチームビルディングを形成するための研修

(イ) 傾聴技法を学ぶ研修

(ウ) 青年心理学や行動学、キャリア教育等学生のマインドを形成するための研修

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「メンズテーラードジャケット パターン講習」(連携企業等:岩井洋服店)

期間:令和2年8月29日(木) 対象:パターンの担当教員

内容:メンズの体の構造理解とメンズのテーラードジャケット作図の方法

長年にわたり注文服を専門に作り続けている岩井洋服店による講習にて、高度な技術の習得と理解を深める

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

期間:令和2年8月6日(火)~8(木) 対象:新任教員

内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「レザークラフト 手作りバッグ製作講座」(連携企業等:レザーブランドToB Ataraxia)

期間:令和3年12月2日(水) 対象:特殊素材、ソーイングテクニックの担当教員

内容:縫製を中心としたレザーのショルダーバッグの製作を行い、レザーの取り扱い方、制作方法を学ぶ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)
期間:令和3年8月19日(水)～21(金) 対象:新任教員
内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

在校生保護者・地域住民・関連企業・卒業生・業界団体の方々を学校関係者委員会のメンバーに選出し、事前に学校の理念や目的、目指す学生像を説明して充分にご理解いただき、目指すべき学校像を共通認識した上でご意見をいただき、学校運営の改善に活かしていきます。

そのために、委員会のメンバーには、自己評価の詳細はもちろんの事、評価をする上でその他の資料が必要とされれば提供をし、学校関係者への透明性を一番大事におこなっていきます。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
(2)学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか
(3)教育活動	① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか
(4)学修成果	① 就職率の向上が図られているか
(5)学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
(6)教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
(7)学生の受入れ募集	① 学生募集活動は、適正に行われているか
(8)財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
(9)法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
(10)社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

就職をしてもメンタル面が弱くて仕事に差し支えがでたり、退職をしたりするのが年々多くなっているのを感じる。

企業としても対策をしていくが、学校としてもメンタル強化に注目をしてやってもらいたい

⇒学校としても強く感じている部分なので、キャリア教育や人格教育の中でメンタル強化をおこなうとともに、教員には学生一人一人の様子を常に確認していきながら、早めの気付き・声掛け、早めの対処を徹底するように指示をした

「学校内はスマホ禁止」などよりも、いかに使いこなせるようにするかに注目した方が、就職してからも優位に立てることが多いので、その環境や教育も視野に入れた学校運営を考えていくのもいいのではないかと

⇒次年度中に全ての教室でWifiを整備して、まずは校内環境を整えるようにした

モデルハントを積極的に行い勉強になっているが、自分からしたらスタイリストの動きに違和感がある。「スタイリスト対応」ではなく、「教員対応」になっている。(上からの物言い、自分がやってしまうなど)

学生にもっと(一般の)サロンモデルをやって欲しい。

⇒教員の意識が強くて自分達では気付きにくい意見だと思うので、時と場合によっては「学生が目指す職業の経験者」として 臨機応変に指導にあたるように、改めて教員に周知をした

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
甲木 輝彦	有限会社KATSUKI (ビューティビジョン協同組合)	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
隈本 達也	有限会社ダム	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	卒業生、 企業
佐藤 安彦	(株)ぼたんや	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
津田 鶴太郎	津田産業(株)	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
松原 弘伸	(株)アスリード	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
吉田 二三男	黒門東部自治会	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	地域住民
金森 理奈		R1年7月1日～R4年3月31日 (2年9ヶ月)	保護者
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.omula.com/>

公表時期:令和3年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育活動や学校運営の状況などの情報を提供することにより、学校と学校関係者との共通理解を深め、強い信頼関係の構築を目指す。

特に、以前には公開していなかった学校評価や財務状況などについてを公開することにより、今まで以上に学校のことを知ってもらい、更なる教育活動の活性化や課題の解決、学校運営の円滑化につなげ、実践的職業教育学校としての社会的向上に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	・学校の目標及び計画、経営方針、特色 ・校長名、所在地、連絡先等
(2)各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム
(3)教職員	・教職員数(職名別) ・教職員の組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取組支援
(5)様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取組状況 ・課外活動(ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	・学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い(金額、納入時期等) ・活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料免除の案内)
(8)学校の財務	・収支報告書、財産目録
(9)学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果 ・評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

<http://www.omula.com/>

授業科目等の概要

(ファッション専門課程ファッション科)															
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○		販売ロープレ	ロールは『役割』、プレイングは『演じる』＝ロールプレイング「模擬販売実演」設定時間内でロールプレイングを繰り返し実践します。販売知識や技術だけでなく、コミュニケーション能力・細やかな所作、言葉遣いも習得します。ロールプレイングコンテストを開催し、即戦力となる販売力を企業の方々に披露します。この取り組みで就職内定へ繋がります。	1 通	90			○	○	○			○	
2	○		ファッションベーシック	ファッションデザイン画の基礎でもある、ドローイングのテクニックを習得します。オリジナリティ溢れるデザインが描けるように、服装史、テキスタイルについて学び、デザイン発想に活かします。	1 通	45		○			○		○		
3	○		パターンメイキング&ソーイングテクニック	ファッションの基本となる構造やディテールを理解し、知識として習得します。また、ディテールを知るために、実際にテクニックとしてパターンや縫製を行います。	1 通	60			○	○			○		
4	○		ファッション流通 感度	世界5大コレクションを中心に、ファッションのトレンド（アイテム・カラー・ディテール・テキスタイル）を学びファッション感度を高めます。ブランド・デザイナー毎の特徴を掴み、幅広いファッション知識を学習します。効果的なプレゼンテーションを行うために、プレゼンツールの作成方法、PCの操作技術を学びます。	1 通	45		○			○		○		
5	○		検定対策	スタイリングマップ検定、フォーマルウェア検定対策授業として、スタイリングマップの基礎知識、フォーマルウェアの基礎知識を学びます。	1 通	45		○			○		○		
6	○		ファッションビジネス検定	ファッション業界への就職を目指す学生が活用することの多い資格「ファッションビジネス能力検定」は、ファッションに関する造詣知識・技術から流通までの幅広い知識を検定する試験です。検定対策授業を行い、基礎レベルである3級取得を目指します。	1 通	30		○			○		○		
7	○		プロデュース企画	企画立案するために必要な、コンセプト、ターゲット考案、トレンドリサーチなどを理解し、自分だけのブランドやショップ企画ができるようになります。また、コンセプト、ターゲットにあわせたリアルクローズの提案もできるようになります。	1 通	45		○			○			○	

8	○		ショー企画	どのようなファッションショーを行うかグループで話し合い、世界観やイメージを第三者が見てもわかる企画書にまとめます。相手に内容や思いが効果的に伝わるプレゼンテーション技術を学びます。	1 通	210				○	○					○	
9	○		キャリアプランニング	業界を牽引する人材を育てる為に、これから携わる社会や業界との接し方、自分の人生と将来の目標をイメージ出来るようにします。アパレル業界で希望職種への就職を目指すために、職種理解や就職活動の基礎知識を習得します。さらに就職ロールプレイングによる面接トレーニングも行います。	1 通	45			○		○					○	
10	○		選択授業	自身のスキルアップ、専攻学科・コース以外のカリキュラム受講で知識や技術の幅を広げるための授業です。	1 通	120				○	○					○	
11	○		スタイリングマップ検定Ⅱ	スタリングマップ検定ジュニアレベルの基礎知識を基に、スタイリングによるコミュニケーション力を高めてファッションビジネスシーンで使える手法を学びます。	2 通	30			○			○				○	
12	○		ファッションビジネス能力検定3級	ファッション能力検定3級の中の、造形知識「デザインの定義と特性」「ファッションコーディネート」「ファッション商品知識」について学びます。ビジネス知識から造形知識まで幅広く習得し、過去問題を解きながら検定対策を行います。	2 通	30			○				○			○	
13	○		フォーマル検定準2級	アパレル業界内外を問わず求められている、冠婚葬祭や男女別の正しいフォーマル知識を学び、日本フォーマルウェア協会が実施するフォーマル検定のブロンズライセンス取得のための内容を習得します。	2 通	15			○				○			○	
14	○		キャリアプランニング	学生と社会人の違いを理解して就職する目的を学習します。書類作成や求人票の見方など就職活動の手順や、社会人マナーやルールを学習します。業界で活躍されている方を講師に招き、リアルな情報や技術を集中して教えて頂きます。	2 通	30			○				○			○	
15	○		選択授業	自身のスキルアップ、専攻学科・コース以外のカリキュラム受講で知識や技術の幅を広げるための授業です。	2 通	60				○	○					○	
16	○		パソコンスキルⅠ	ファッション業界に限らず、世界的に各種デザインやDTPの分野で用いられているグラフィックソフトを使った作品制作スキルを学びます。	2 通	15			○				○			○	
17	○		ファイナル製作Ⅱ	デザイン画を描きデザインにあった素材を探し、加工してテキスタイルを作ります。パターン作成から縫製まで、それぞれのデザインに合わせて作品を製作します。モデルに着用してもらい仮縫いをしてサイズやシルエットの修正や変更を重ねます。	2 通	90					○	○					○
18	○		商品企画	マーケティングやトレンド情報から来季売れる商品を企画し、工場へ生産を依頼できるように平絵・縫製指示書を作成します。	1 通	15			○								○
19	○		パターンメイキング	業界で最も基本となる原型を作図し、スカート、パンツ、シャツの作図手順を学習し、作図後はシーチング組み立てまで行います。	2 通	60					○	○					○

20	○		ソーイングテクニックⅠ	シャツの構造やディテールを理解するために、部分縫いと台衿付きシャツ製作をします。	1通	30				○	○	○		
21	○		ソーイングテクニックⅡ	ジャケットのディテールを理解し、衿、ポケット、ベンツの部分縫い後、既存のパターンからジャケットを製作します。ジャケットに合わせたボトム（パンツもしくはスカート）の製作も行います。	2通	90				○	○		○	
22	○		マーチャンダイジング	マーチャンダイザーに必要な能力と具体的な業務内容を理解します。マーケティング、情報整理、その活用について手法を理解し、商品の企画に活かします。材料計画の進め方と仕入先との折衝、展示会までの流れを習得します。製品調達の種類とその方法について、内容と違いを理解します。	2通	30		○			○	○		
23	○		ブランド企画	自らの持つ世界観やイメージを具現化していく課程を学び、クリエイションからビジネスまでをトータルで表現できるテクニックを学びます。また、プレゼンテーションの反復練習をし、自分の思いを相手に伝えるスキルを磨きます。	2通	60				○	○			○
24	○		パソコンスキルⅡ	ファッション業界に限らず、世界的に各種デザインやDTPの分野で用いられているグラフィックソフトを使った作品制作スキルを学びます。	2通	15		○			○	○		
25	○		メディアワーク	スタイリストの基本技術（スチーミング・シミ抜き・リース方法・商品管理・衣装のセッティング方法・小道具の使い方・おたたみ）のほか、イメージの伝え方、その為に必要なツール作成の仕方、スケジュール管理方法を学びます。プレスの基礎知識を学びます。	1通	30				○	○		○	
26	○		セッションワーク	スタイリスト、スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解し、スタイリストの現場において即戦力となる知識・技術の習得をします。撮影実習の基本知識を学び、カメラワークやヘアメイクの技術を習得します。ファッションショーの企画・製作をします。	2通	120				○	○			○
27	○		プレス概論	福岡県が運営するポップカルチャー多言語WEBサイト「asianbeatFUKUOKA」とタイアップして「World Fashion Snap」×「大村美容ファッション専門学校」の企画ページを作成、運営します。	2通	60				○	○			○
28	○		パソコンスキルⅡ	ファッション業界に限らず、世界的に各種デザインやDTPの分野で用いられているグラフィックソフトを使った作品制作スキルを学びます。	2通	15		○			○	○		
29	○		POP UP SHOP	POP UP SHOPの企画から運営方法までのプロセスを学びます。バイイングテクニックの基礎を学び、仕入れ方法から仕入れ先との交渉の仕方を習得します。	1通	30				○	○		○	

30	○		SHOP企画	FUKUOKA Tシャツマーケットに出品するためのデザイン企画を行い、製作・販売します。 マーケティングについて学び、ショップを企画するために必要な情報を収集・分析します。 POP UP SHOPオープン、韓国でのバイイングに向けて必要な業務スキルの習得と実践を行います。		90					○	○	○		
31	○		バイイング概論	将来、自分のショップを立ち上げることやバイヤーになることを仮定して、バイヤーに必要なスキルを習得します。	2通	60					○	○		○	
32	○		VMD	VMD理論を理解し、実際に市場へ出掛け、ターゲット、立地ごとに解説を聞いた後、自分が興味のあるブランドもしくは仮想店舗をプロデュースし、出店計画を立てます。	2通	30					○	○		○	
33	○		販売スキル	百貨店コンシェルジュや業界で活躍されている販売のプロに、顧客作りから顧客対応、クレーム対応など中堅レベルの販売業務内容や経験談を伺います。	2通	60					○	○		○	
合計					33科目	1800単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
必要な時間数を履修している 教科科目の3分の2以上出席 (留意事項)		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。